



資料 2

健康寿命（令和4年度公表値）の分析結果について



神奈川県 健康医療局 保健医療部 健康増進課

令和8年1月14日

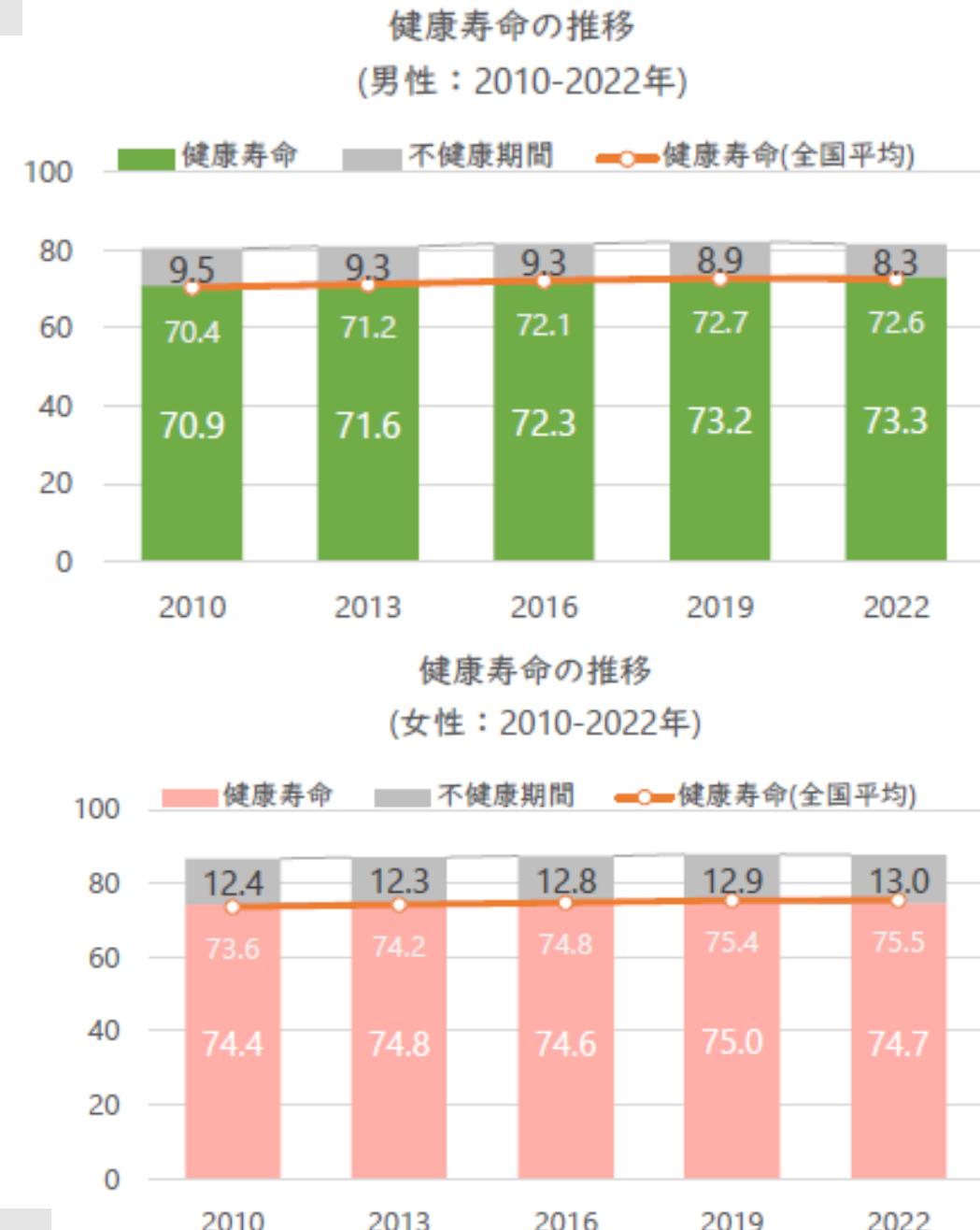
■ 女性における健康寿命の伸び悩み

○ 神奈川県の健康寿命

- ⇒ 男性の健康寿命は、継続して延伸傾向
- ⇒ 一方、最新（2022年）の結果では、女性の健康寿命が前回（2019年）と比べてわずかに減少
- ⇒ 順位についても、男性は全国5位（前回11位）にに対して、女性は全国45位（前回38位）



（特に女性における）健康寿命の伸び悩みに関する要因を探索する



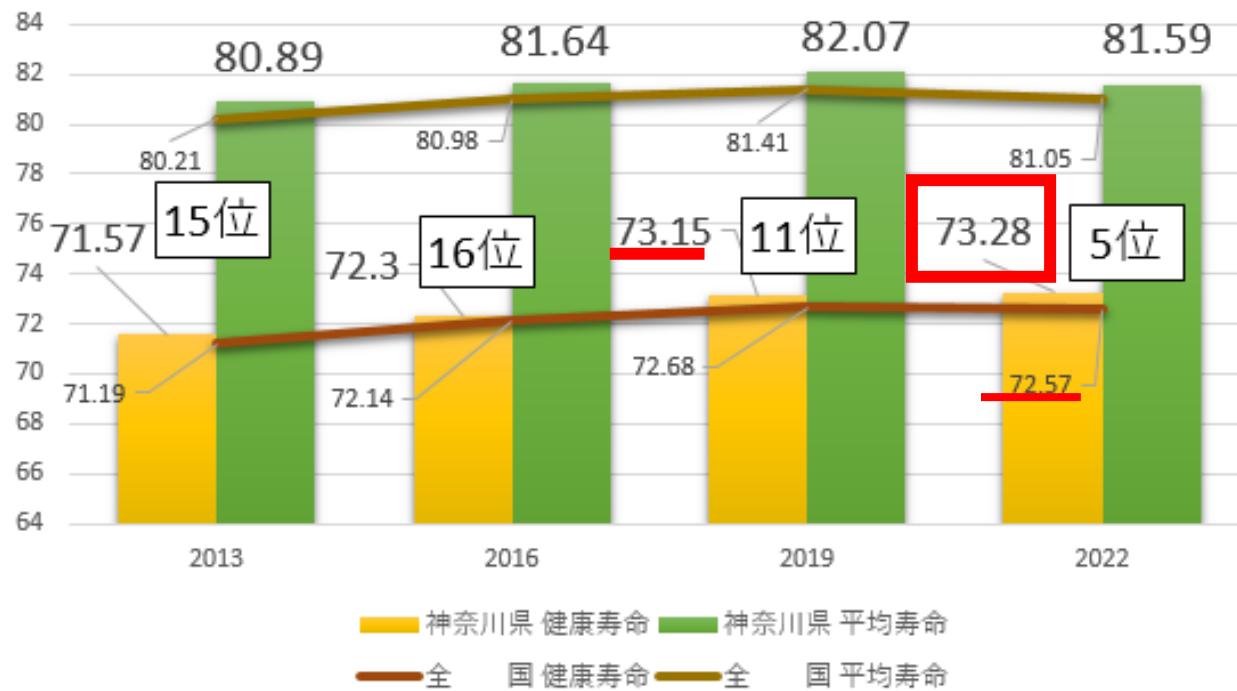
神奈川県の健康寿命の推移

男性

全国との比較

+0.71歳

健康寿命（男性）



女性

全国との比較

-0.74歳

健康寿命（女性）



■取得データ

国民生活基礎調査 個票データ

- ・調査年

- ①平成28（2016）年
- ②令和元（2019）年
- ③令和4（2022）年**

- ・データの種類

- ①世帯票**

- ②健康票**

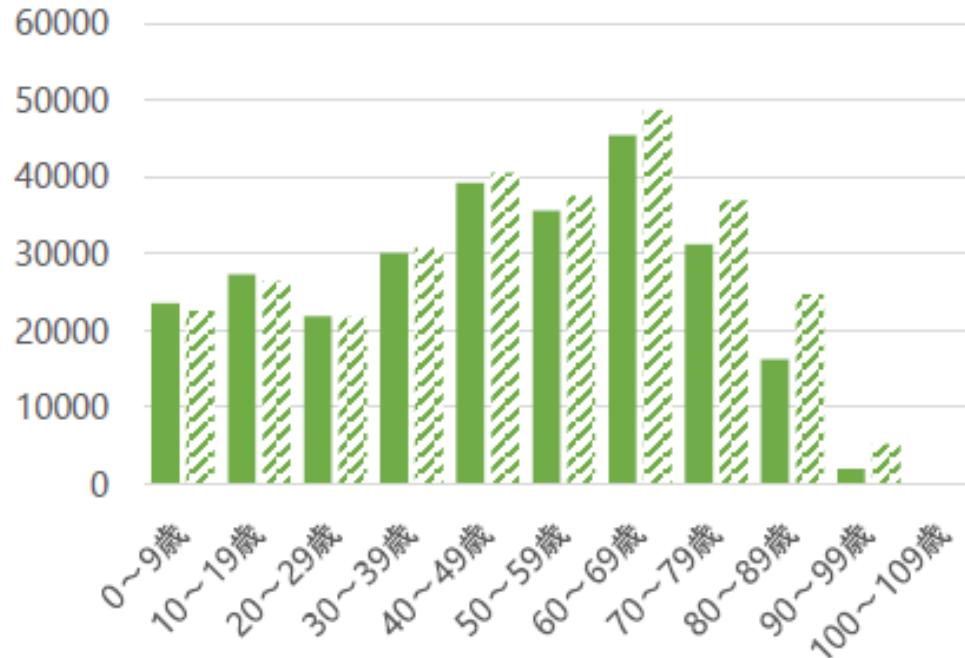
- ③所得票・貯蓄票

- 性・年齢階層別件数は全国567,753人、女性295,196人、県内は21,333人、女性は10,736人
- 神奈川県の女性の回答率は全体の**1.9%**

回答者の性・年齢階層別件数 (全国)

n=567,753

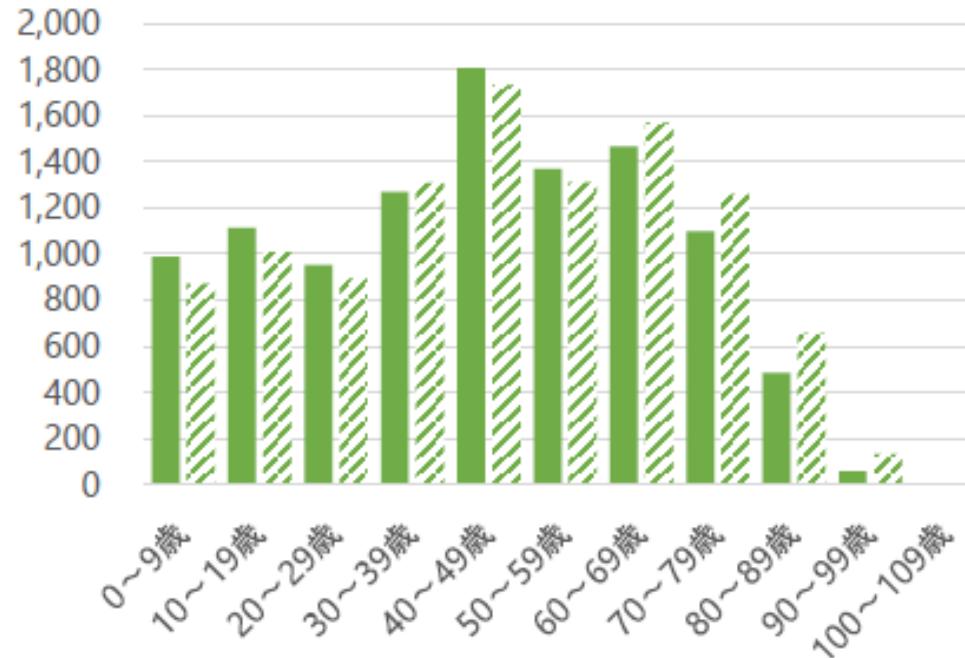
■ 男性(n=272,557) ▲ 女性(n=295,196)



回答者の性・年齢階層別件数 (神奈川)

n=21,333

■ 男性(n=10,597) ▲ 女性(n=10,736)



健康寿命の定義

- ある健康状態で生活することが期待される平均期間を表す指標
- 算出対象となる集団の各個人について、生存期間のうち「**健康な期間**」の平均値を表す

「健康な期間」の定義

1. **健康な状態と不健康な状態とに二分**して健康な状態の期間を表す方法
2. 不健康な状態をレベルによって重みづけし、完全な健康（full health）に相当する期間として表す方法

- 「健康な期間」を、国民生活基礎調査の健康票（大規模調査年のみ実施）における以下の問い合わせに基づいて評価

質問5 あなたは**現在**、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

1 あ る 2 な い

→ 質問6へ

補問5-1 それはどのようなことに影響がありますか。**あてはまるすべて**の番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1 日常活動動作（起床、衣服着脱、食事、入浴など） | 4 運動（スポーツを含む） |
| 2 外出（時間や作業量などが制限される） | 5 その他 |
| 3 仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される） | |

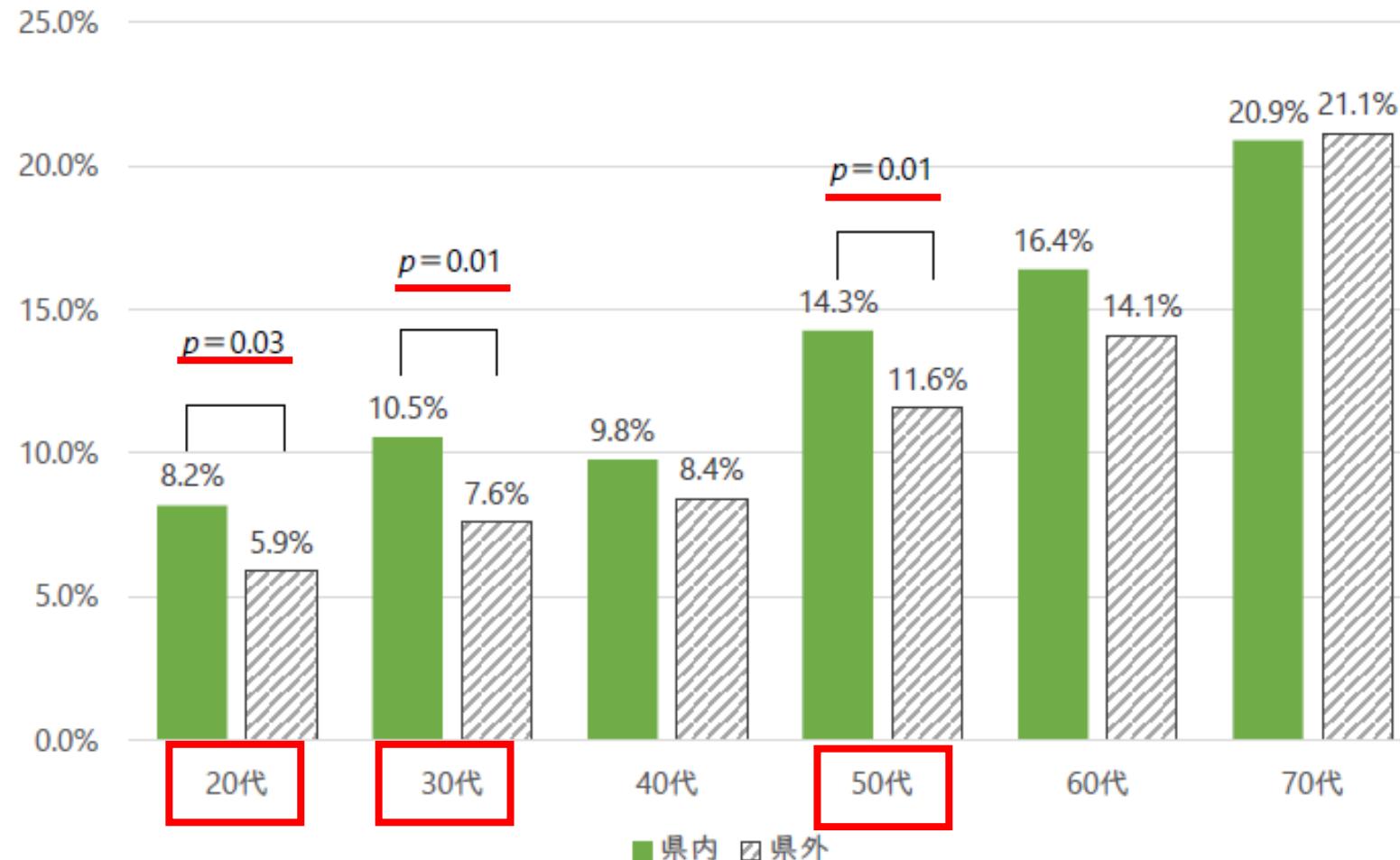
「健康な期間」が健康寿命に大きく影響する

R4年度健康票：神奈川県と他都道府県との比較（女性）

日常生活への影響の有無

SHI渡邊亮教授作成

日常生活への影響の有無（神奈川県内・県外別、年齢階級別） 令和4年度・女性



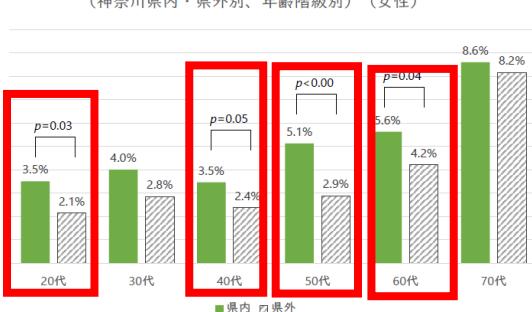
神奈川県と他県の女性と有意差の生じたもの

	質問項目	有意差の生じた年代
1	日常生活動作（起床、衣服着脱、食事、入浴など）	30代
2	外出（時間や作業量などが制限される）	20代、40代、50代、60代
3	仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）	20代、50代
4	運動（スポーツを含む）	60代

質問5-1：日常生活への影響の事柄
1：日常生活動作（起床、衣服着脱、食事、入浴など）
(神奈川県内・県外別・年齢階級別) (女性)



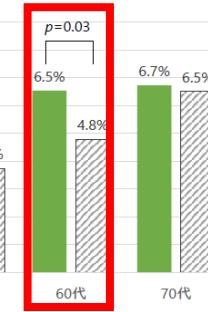
質問5-1：日常生活への影響の事柄
2：外出（時間や作業量などが制限される）
(神奈川県内・県外別・年齢階級別) (女性)



質問5-1：日常生活への影響の事柄
3：仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）
(神奈川県内・県外別・年齢階級別) (女性)



質問5-1：日常生活への影響の事柄
4：運動（スポーツを含む）
(神奈川県内・県外別・年齢階級別) (女性)



神奈川県の20代・30代・50代の女性が他都道府県
に比べ、「日常生活への影響」が生じる要因は？

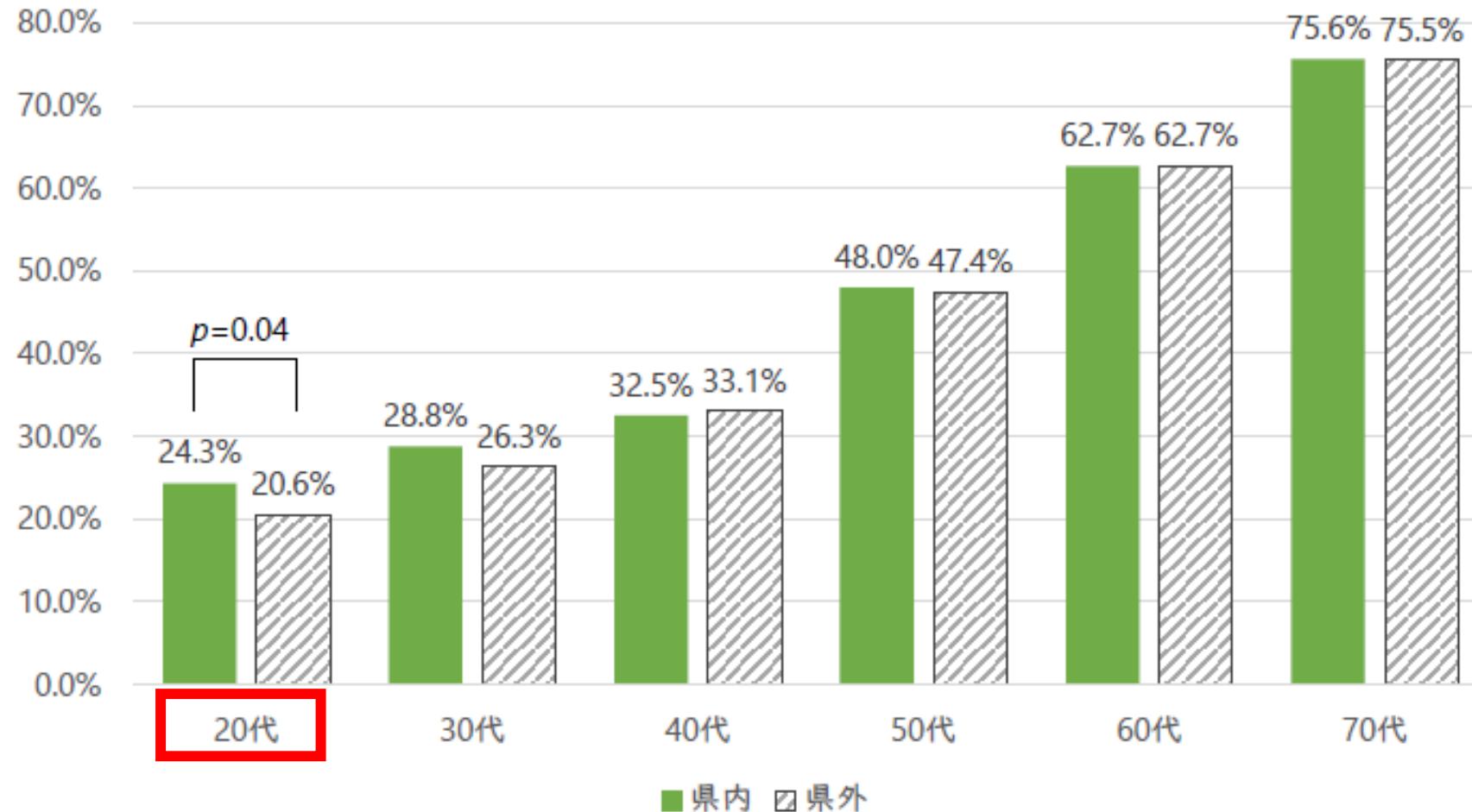
日常生活への影響が生じる要因について

通院の有無

SHI渡邊亮教授作成

質問4：通院の有無

(神奈川県内・県外別、年齢階級別) (女性)

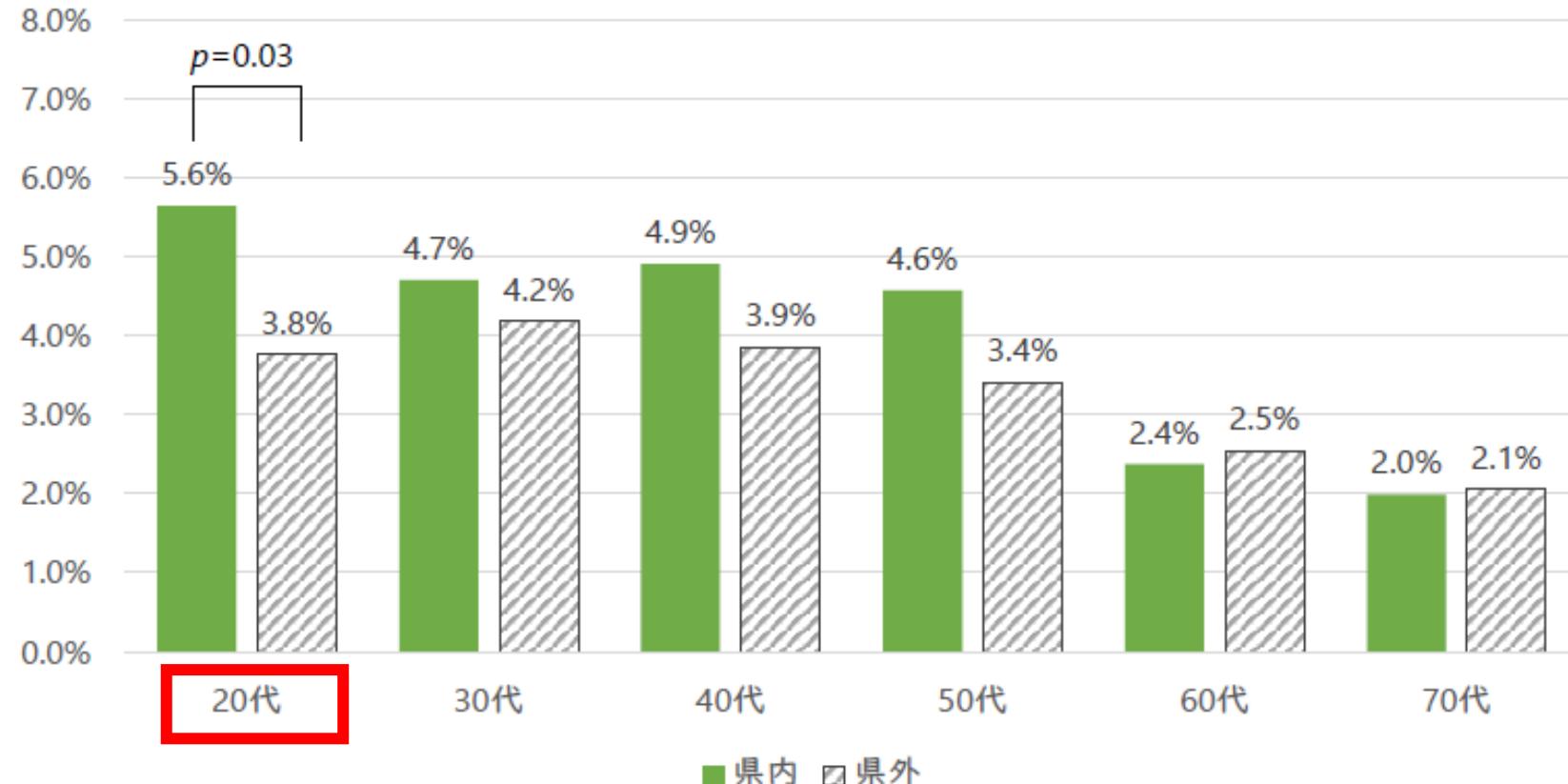


通院理由

質問4：通院理由(傷病名)

4-05：うつ病やその他こころの病気

(神奈川県内・県外別、年齢階級別) (女性)



R4年度健康票：神奈川県と他都道府県との比較（女性）

こころの状態

質問12：こころの状態(K6)

SHI渡邊亮教授作成

合計点(K6)が5点以上の者の割合

（神奈川県内・県外別、年齢階級別）（女性）



■ こころの状態に関する設問項目

質問12 次の(ア)から(カ)の質問について、過去1か月の間はどのようにであったか、6つの項目それぞれのあてはまる番号1つに○をつけてください。

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
(ア) 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
(イ) 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
(ウ) そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
(エ) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
(オ) 何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
(カ) 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

分析結果のサマリ(SHI渡邊教授による解析)

○神奈川県の女性では、健康寿命の算出に影響を及ぼす「日常生活への影響の有無」に「ある」と回答した者の割合が、他都道府県と比較して、20代・30代・50代で有意に多い。

⇒経年でみても20代・30代・50代では「ある」と回答した者の割合の増加が続いている。

○日常生活への影響がある要因については、現時点での解析では明らかになってない。

・ただし、「こころの状態 (K6)」の値が悪い者の割合は、他都道府県と比較して20～30代に有意に多かった。

取組に対するご意見